

**2025年3月期
通期 決算説明会**

**2025年5月15日
タカラバイオ株式会社**

本日の内容

- **2025年3月期 連結業績**
- 各事業の施策
- 2026年3月期 連結業績 予想

2025年3月期 通期 連結業績

(百万円)	25/03期	前期比	前回予想比 (2/13)
売上高	45,039	+1,533 +3.5%	▲460 ▲1.0%
売上総利益	26,067	▲841 ▲3.1%	▲1,014 ▲3.7%
販管費及び 一般管理費	23,804	▲100 ▲0.4%	▲277 ▲1.2%
営業利益	2,263	▲740 ▲24.6%	▲736 +24.6%
販管費うち 研究開発費	6,897	▲1,426 ▲17.1%	▲99 ▲1.4%

営業利益の増減要因 (百万円) (前期比)

売上数量減少	▲276
売上構成差	▲2,417
為替変動影響	+1,852
売上総利益の減少	▲841
研究開発費の抑制	+1,426
人件費※・その他経費の増加	▲1,326
販売費及び一般管理費の減少	+100
営業利益の減少	▲740

②

※研究開発人件費を除く



2025年3月期 通期 連結業績： 分野別 売上高

(百万円)	売上高	前期比	前回予想比 (2/13)
試薬	31,995	+589 +1.9%	▲74 ▲0.2%
機器	1,172	+279 +31.3%	▲4 ▲0.4%
受託	8,113	+115 +1.4%	▲415 ▲4.9%
再生医療等 製品	4,102	▲123 ▲3.0%	▲242 ▲5.6%
遺伝子解析 /検査その他	4,010	+239 +6.3%	▲173 ▲4.2%
遺伝子医療	3,757	+548 +17.1%	+34 +0.9%

前期比

試薬：世界的なライフサイエンス研究市場の低迷の影響を受けたが、為替変動の影響により前期比で増収。

機器：PCR関連装置(日本)・シングルセル解析システム(米国)が増収。

再生医療等製品関連受託：ベクター製造受託や品質試験受託は増収。全体では、細胞加工受託の減収の影響が大きく減収。

遺伝子解析/検査関連受託：シングルセル解析、空間解析などの新メニューが好調で増収。

遺伝子医療：レトロネクチン®、AM製品が売上を伸ばし増収。

③

*Ancillary Materials：製造補助剤



2025年3月期 通期 連結業績： 試薬事業 地域別売上高

(百万円)	売上高	前期比			前期比(現地通貨ベース)
		増減	うち為替 影響額	現地通貨 増減率	
日 本	6,497	▲847	0	▲11.5%	日本:前期のCOVID関連試薬の影響を除くとほぼ前期並み
米 国	12,879	+234	+936	▲5.6%	米国:研究用/カタログ製品は堅調に推移するも、OEM/カスタムRHT関連試薬の影響が大きく減収
欧 州	3,411	▲270	+255	▲14.3%	欧州:研究用/カタログ製品・OEM/カスタム製品ともに減収
中 国	7,262	+1,477	+417	+18.3%	中国:代理店制度の再構築や価格戦略などのグローバル施策により増収
韓 国	1,173	▲148	+36	▲14.1%	韓国:政府の研究開発予算の縮減の影響が大きく減収
印 度	770	+145	+46	+15.7%	印度:現地生産などのグローバル施策により増収
合計	31,995	+589	+1,693	▲3.5%	

4



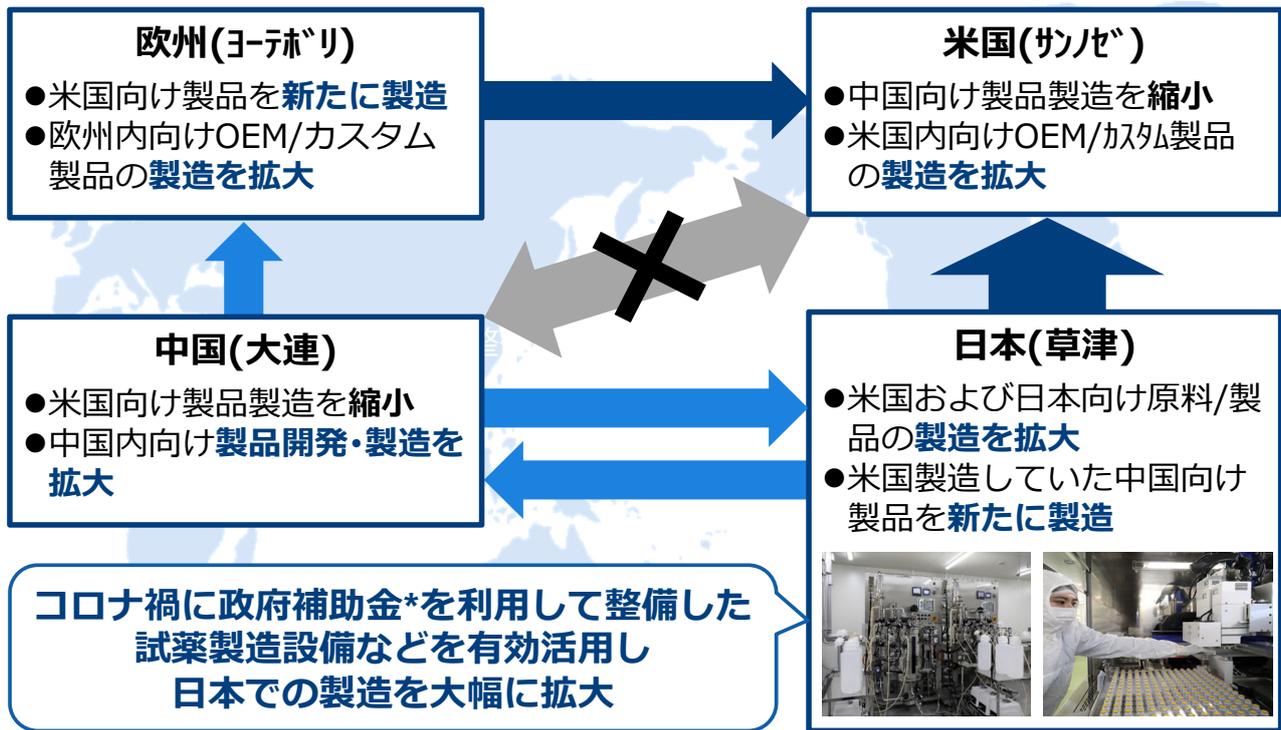
本日の内容

- 2025年3月期 連結業績
- 各事業の施策
- 2026年3月期 連結業績 予想

5



多極的なグローバル製造体制を構築し 米中貿易摩擦/相互関税の影響の最小化を図る



6

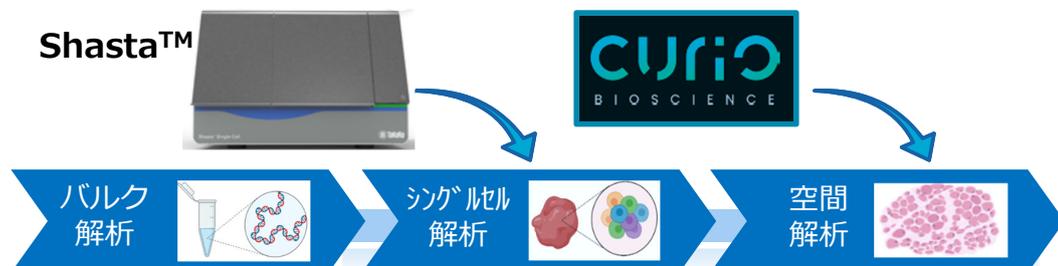
*経済産業省「令和2年度 サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」

Takara

Curio社の空間解析技術を最大限に活用し 試薬/機器事業の拡大とオミクス解析サービスを拡充

Curio社の空間解析技術

- シングルセル解析結果に位置情報を付加することができる**Trekker技術**
- 多様な生物種での高解像度な空間トランスクリプトーム解析を可能とする**Seeker技術**



慶應義塾大学先端生命科学研究所 (IAB) と包括連携協定締結

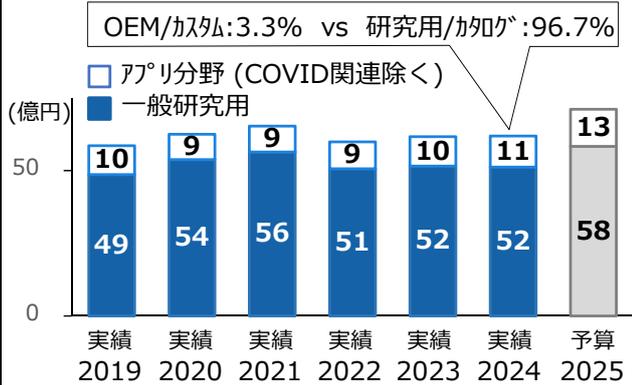
- ゲノミクスとメタボロミクスの二刀流人材を育成
- 両分野の国内最大解析拠点が連携し、国内トップレベルのバーチャルなオミクス機構の構築を目指す

7

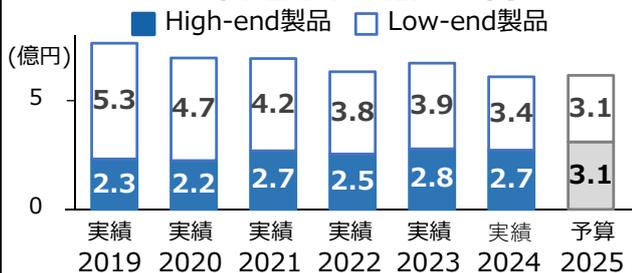
Takara

試薬事業 (日本) : Curio社製品の国内展開と OEM/カスタム製品へのシフトを加速

試薬事業 (日本) 売上高



PCR関連酵素単品売上高



課題

- アプリ向け研究用/カタログ製品の売上比率が未だ大きく、研究開発費削減の影響を払拭できていない。
- Low-end製品の競合他社との価格競争が益々激化。

施策

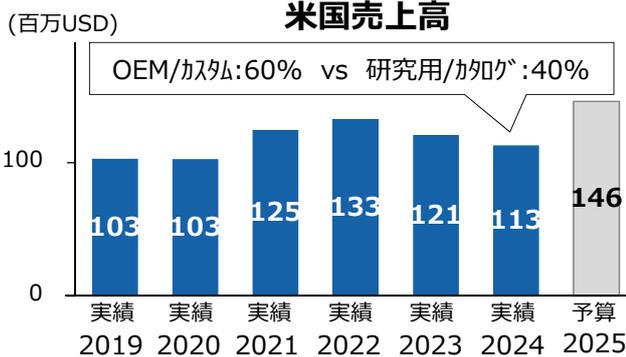
- Curio社製品の速やかな市場投入と、空間解析受託とのシ너지効果を最大限に活用した、特にNGS関連製品の拡販。
- Low-end製品の価格政策によるシェアを堅持しながら、検査/診断用途を含むアプリケーション分野のOEM/カスタム製品の開発と拡販に注力。

8

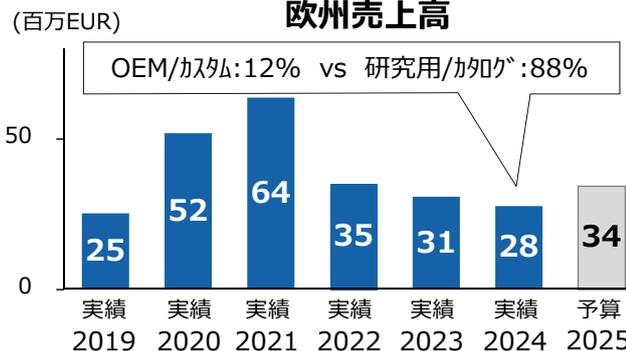
Takara

試薬事業 (米国・欧州) : Curio社製品と NGS関連製品の拡販による大幅増収を計画

米国売上高



欧州売上高

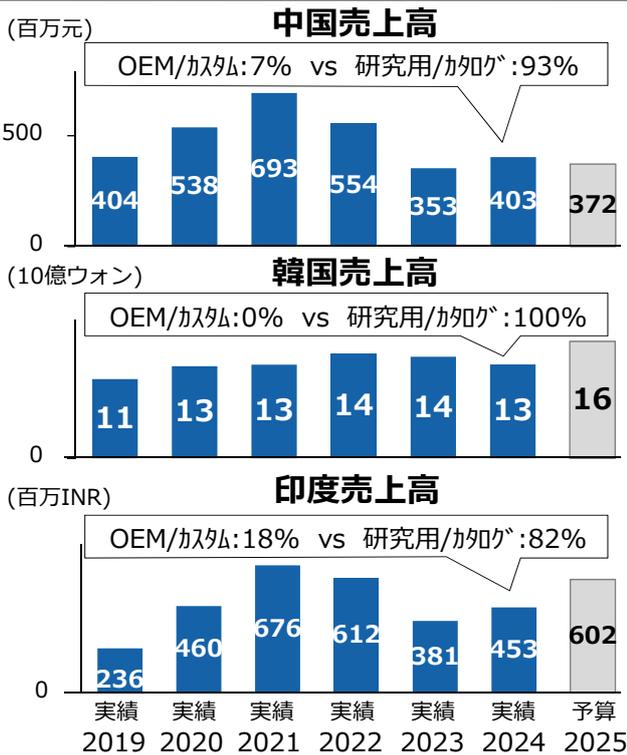


- 2024年度は、研究用/カタログ製品は回復してきたが、OEM/カスタム製品の大口顧客の購買方針変更による減少を補えず、米国・欧州ともに増収計画が一転、大幅減収となった。
- 2025年度は、Curio社製品の早期市場導入とシ너지効果の最大化によるNGS関連製品等の拡販、OEM/カスタム製品の新規顧客の開拓を推進。さらに米国においては研究開発プロジェクトの選択と集中を含む販管費の効率的運用による大幅増益を計画。
- 欧州については、米国向け製品の製造を大幅拡大し、2期連続経常赤字からの脱却を図る。

9

Takara

試薬事業 (中国・韓国・印度) : 事業環境変化に応じたグローバル施策を推進

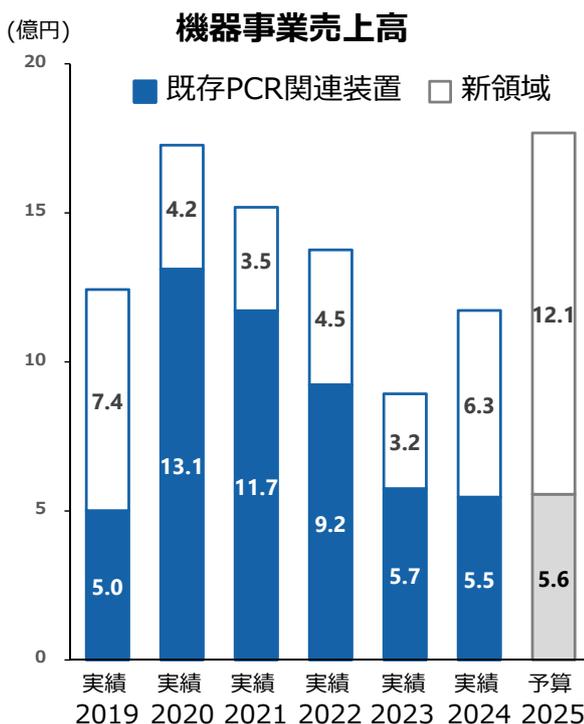


- 中国の2024年度は、中国で開発したグローバル対応製品の販売が不調であったが、代理店網の再編などで増収。2025年度も中国内物流の再構築などを進めるが、中国競合社との価格競争の激化等により減収の計画。
- 韓国の2024年度は、2期連続の減収となったが、2025年度はマーケティング体制の強化、OEM/カスタム製品の展開加速等により増収を計画。
- 印度の2024年度は、印度で開発したグローバル対応製品の販売が不調であったが、2025年度は印度内製造品目の見直し等により増収を計画。

10



機器事業 : シングルセル/空間解析分野など 既存PCR分野以外への事業展開を加速



課題

- 米国におけるシングルセル解析装置「Shasta™」に最適化された専用試薬/ソフトウェア開発の遅延。
- 日本におけるデジタルPCR装置のシステム販売を可能にする当社酵素を組み込んだ関連試薬開発の遅延。

施策

- シングルセル/空間解析や創薬/診断などの新規領域の新製品開発/導入を進めるとともに、機器販売体制の強化を進める。

11



試薬/機器事業：基盤技術開発と ローカルニーズに合わせた製品開発体制の推進

事業展開戦略

世界各地域のローカルな市場ニーズに合わせた製品開発
汎用的な研究用/カタログ製品から高付加価値なOEM/カスタム製品へ



12

Takara

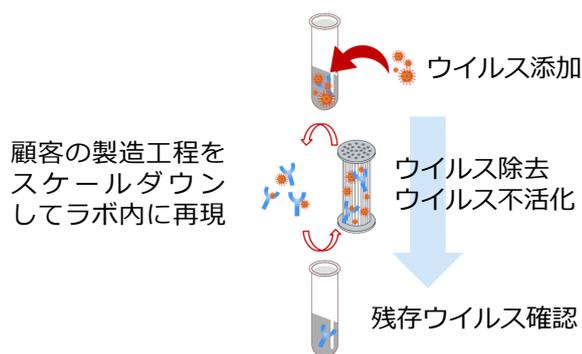
受託事業：ViSpot事業の活用により 抗体医薬製造関連受託へも事業領域を拡大

- 2025年5月1日「ViSpot株式会社」を吸収合併
- 「ViSpot事業部」としてブランドやサービス提供体制を維持
- 抗体医薬品などのバイオ医薬品の開発に必須である「ウイルス安全性評価試験」の受託サービスをCDMO事業に組み込み、品質保証レベルの向上や新規品質試験メニューの開発などを進める

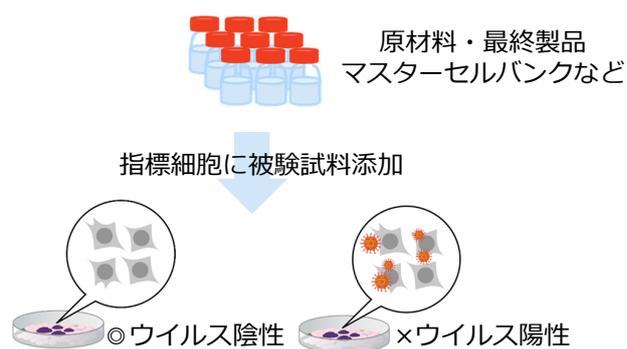
ViSpot

ウイルス安全性評価試験

(A) ウイルスクリアランス試験



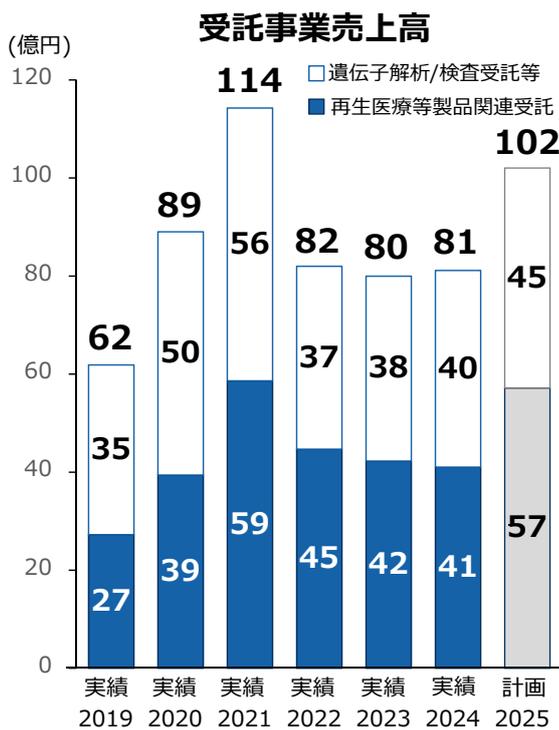
(B) ウイルス否定試験



13

Takara

受託事業：買収した2社技術とのシナジー効果の活用によるCDMO事業の拡大



- 2024年度は、クライアントの開発方針変更による細胞加工受託の大幅減収を、mRNAワクチン関連製造等のベクター製造とその品質試験や遺伝子解析/検査受託の増収で補い、受託事業全体では僅かながら増収を確保した。
- 2025年度は、再生医療等製品関連受託においては開発初期段階プロジェクトへの対応を強化するとともに、細胞加工受託については細胞遺伝子治療分野のみならず特定細胞加工物やiPS細胞関連分野にも注力し、CGCP 2号棟の新規細胞加工室の活用も進め事業拡大を図る。
- 遺伝子解析/検査受託では、全ゲノム解析の競争激化による単価下落がさらに進む中、Curio社製品を用いた空間解析やシングルセル解析に加え、マイクローム解析等の付加価値の高い新規受託メニューの拡充により増収を計画する。

14

TakaRa

受託事業：C‘R’ DMO戦略を推進 当社独自のプラットフォーム技術を活用



Spo-T™、CereAAV™、SonuAAV™等の独自のプラットフォーム技術やTBI-1301等の臨床開発の経験を活かし、将来の開発(D)・製造(M)を見据え、開発初期(R)からクライアントに伴走する包括的支援サービスを提供

- アカデミアKOLとの共同研究や、AMED事業における協業等を通じ、応用研究/非臨床PoCなどの早期フェーズから支援
- 製薬企業に加え、スタートアップ企業との協業も積極的に推進し、製造プロセス開発なども支援

(株)ギャップ®ジヤンクションとの提携



GJB2遺伝子変異型難聴に対するAAV遺伝子治療薬の開発において、当社が製造工程の開発と製造を担当、上市後も独占的に製造予定

ノイルミューン・バイotech(株)との提携

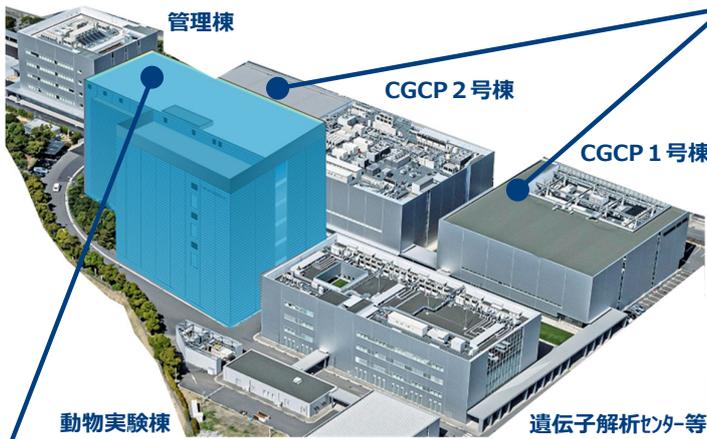


固形がんに対するCAR-T細胞製品NIB103の開発において、当社が製造工程の開発と製造を担当、上市後も国内において独占的に製造予定

15

TakaRa

受託事業：プロセス開発や中規模スケール製造などにも柔軟に対応可能な新棟建設が進行中



CGCP 1/2号棟主要設備

- ウイルスベクター・mRNA製造用バイオリアクター(25Lx2~500L~3,000L)
- プラスミドDNA・タンパク質製造用培養槽(90Lx2~200Lx3~2,000Lx2)
- 細胞加工室x11/ボールルームx3
- 品質試験専用フロア約1,750㎡
- 自動無菌充填能力23,000バール/日
- 体外診断用医薬品/遺伝子治療薬製造補助剤等製造設備(月産:800万PCR反応用キット相当)

CGCP 3号棟主要設備(建設中)

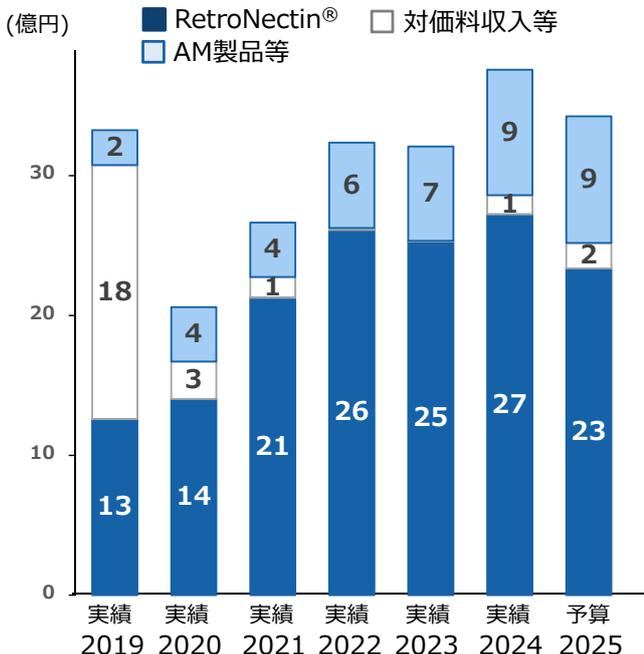
- 2024年5月着工/2027年竣工予定
- ワクチン製造拠点と部素材等製造拠点の役割を持つ**デュアルユース施設**
- ウイルスベクター・mRNA製造用バイオリアクター(25Lx2~500Lx2~1,000Lx2)
- プラスミドDNA・タンパク質製造用培養槽(300Lx6)
- 品質試験専用フロア約1,500㎡ ・GMP製造用部素材専用自動倉庫を完備

16 CGCP：遺伝子・細胞プロセッシングセンター



遺伝子医療事業：品質管理体制の堅牢化と高付加価値な新規AM製品の開発を推進

遺伝子医療分野売上高



- 2025年度は、高性能なmRNAワクチン製造用GMPグレード酵素などの新規AM製品を拡販するが、RetroNectin®の売上減少を補えず減収を計画する。
- 開発初期からクライアントに伴走するC‘R’DMO事業を進めながら、当社独自のプラットフォーム技術のライセンス活動による対価料収入等も増加させる。
- 品質管理体制の堅牢化を進め、上市薬製造に対応できるレベルの質保証体制の構築も推進する。

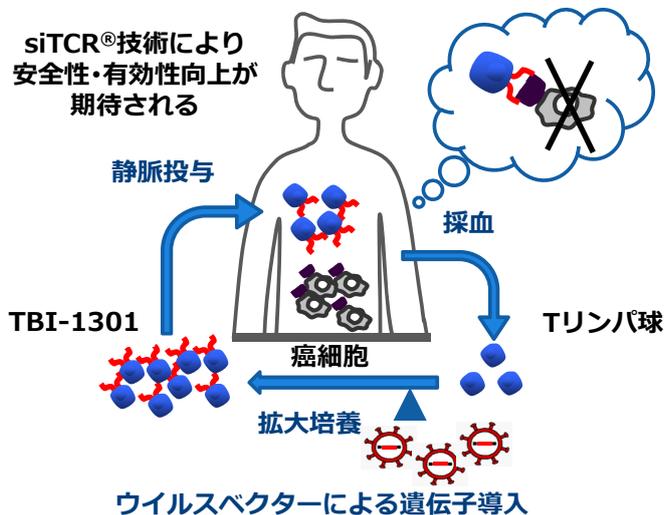
17 AM(Ancillary Materials)製品: 無菌性担保等のGMP準拠を要求されるバイオ医薬品の製造補助剤



遺伝子医療事業：TBI-1301プロジェクト NY-ESO-1・siTCR® 遺伝子治療薬の開発を推進

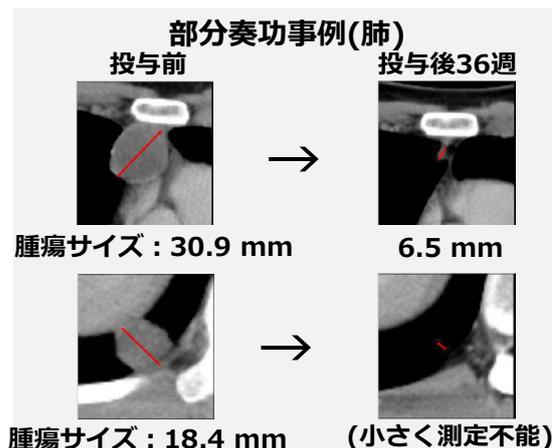
- 2018年3月27日 厚生労働省「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定
- 2020年6月17日 滑膜肉腫を対象とした希少疾病用再生医療等製品に指定

NY-ESO-1・siTCR® 遺伝子治療
TBI-1301が癌細胞を認識し攻撃



滑膜肉腫に対する
国内治験(探索的試験)結果

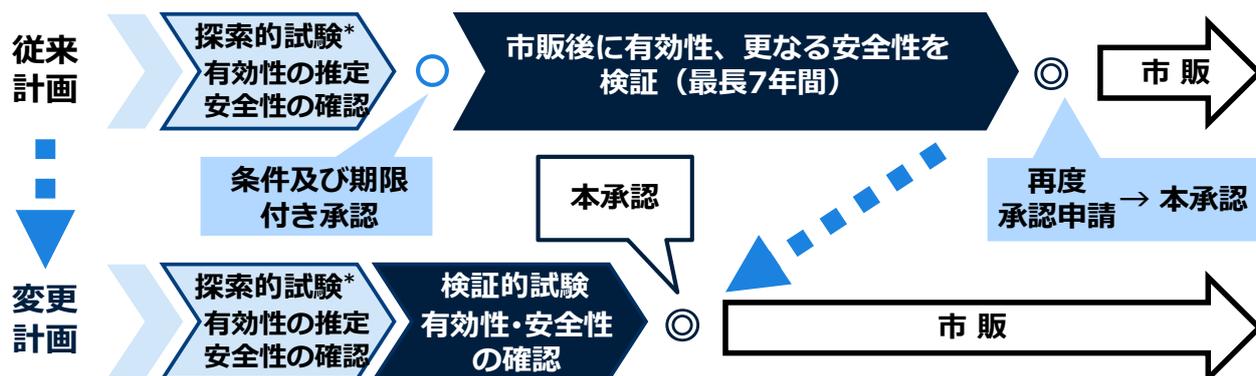
奏効率：50% (8例中4例)
全生存期間中央値：650日



18

TaKaRa

遺伝子医療事業：TBI-1301プロジェクト 早期に本承認を目指す計画に変更



*Phase 1/2

- TBI-1301プロジェクトではPMDA先駆け総合評価相談を継続中であるが、【条件及び期限付き承認】を受けた他社の再生医療等製品が市販後に有効性の検証ができず不承認又は承認を取下げする事例も見受けられる。
- 厚生労働省により新たな「タンス」**も2024年3月に発出され、PMDAと協議をふまえ、新たに検証的試験を2025年度より実施して、【本承認】の取得時期を早めるとともに、取得の確度も高める計画に変更する。

19

**「再生医療等製品に係る条件及び期限付き承認並びにその後の有効性評価計画策定に関する「タンス」について」(医薬機審発0329第3号、令和6年3月29日)

TaKaRa

本日の内容

- 2025年3月期 連結業績
- 各事業の施策
- 2026年3月期 連結業績 予想

20

 TakaRa

2026年3月期 通期 連結業績 予想

(百万円)	26/03期	前期比
売上高	52,500	+7,460 +16.6%
売上総利益	30,025	+3,957 +15.2%
販管費及び一般管理費	27,525	+3,721 +15.6%
営業利益	2,500	+236 +10.5%
販管費うち研究開発費	7,683	+785 +11.4%

営業利益の増減要因 (百万円) (前期比)

売上数量増加	+4,854
売上構成差	▲355
為替変動影響	▲541
売上総利益の増加	+3,957
研究開発費の増加	▲785
人件費 [*] ・その他経費の増加	▲2,936
販売費及び一般管理費の増加	▲3,721
営業利益の増加	+236

21

※研究開発人件費を除く

 TakaRa

2026年3月期 上期・下期 連結業績予想

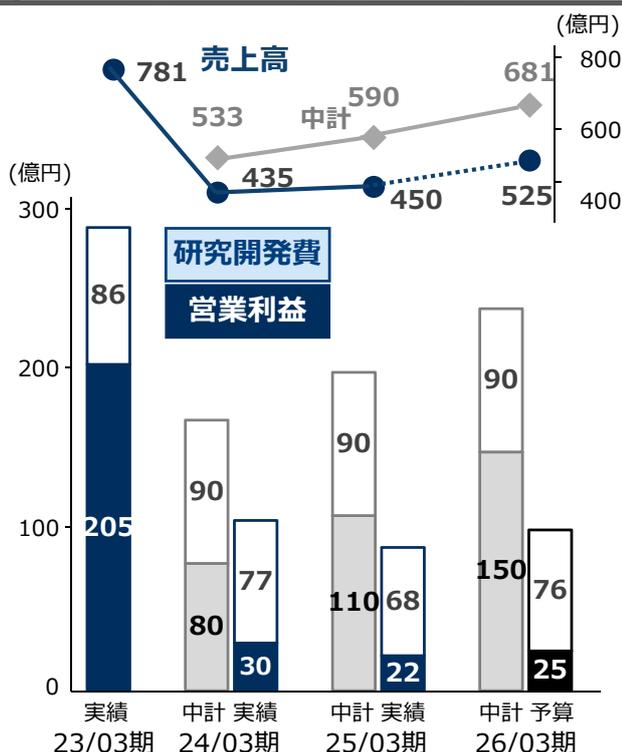
(百万円)	上期	前期比
売上高	21,300	+1,541 +7.8%
売上総利益	12,384	▲60 ▲0.5%
販管費及び一般管理費	13,834	+1,806 +15.0%
営業利益	▲1,450	▲1,867 -
販管費うち研究開発費	3,556	+74 +2.1%

(百万円)	下期	前期比
売上高	31,200	+5,918 +23.4%
売上総利益	17,640	+4,018 +29.5%
販管費及び一般管理費	13,690	+1,914 +16.3%
営業利益	3,950	+2,103 +114.0%
販管費うち研究開発費	4,126	+710 +20.8%

22

Takara

「中期経営計画2025」定量目標未達となる見込みであるが その方向性を堅持し次期中期経営計画/長期経営構想に繋げる



- 「中期経営計画2025」では、事業構造の変革を進め、試薬/機器事業の持続的成長とCDMO事業の飛躍的成長により、コロナ・クリフから脱却しV字回復を目指す計画であったが、世界的なライフサイエンス研究市場の低迷が続く見込み、定量目標未達となる見込み。
- 2026年3月期も、市場環境の急速な回復は見込めず、さらに米中貿易摩擦の各事業への影響が顕在化する等、事業環境は激変している。次期中期経営計画/長期経営構想に繋げる施策を行ない、各事業を成長軌道に戻すとともに次の事業の柱の育成も推進する。

23

Takara

将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先：広報・IR部

E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

【参考資料】

参考資料（25/03期業績、26/03期予想）

- ・ 25/03期 連結業績（通期）
- ・ 26/03期 連結業績（上期予想）
- ・ 26/03期 連結業績（通期予想）
- ・ 25/03期 カテゴリー別売上高（通期）
- ・ 26/03期 カテゴリー別売上高（上期予想）
- ・ 26/03期 カテゴリー別売上高（通期予想）
- ・ 25/03期 試薬所在地別売上高（通期）
- ・ 26/03期 試薬所在地別売上高（上期予想）
- ・ 26/03期 試薬所在地別売上高（通期予想）
- ・ 会社別業績（25/03期通期、26/03期上期・通期予想）
- ・ 為替レート（実績・予想）

25/03期 連結業績（通期）

（百万円）

	25/03期 通期	前期比		2/13予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	45,039	+1,533	+3.5%	▲460	▲1.0%
売上原価	18,972	+2,374	+14.3%	+554	+3.0%
売上総利益	26,067	▲841	▲3.1%	▲1,014	▲3.7%
販売費及び 一般管理費	23,804	▲100	▲0.4%	▲277	▲1.2%
営業利益	2,263	▲740	▲24.6%	▲736	▲24.6%
経常利益	2,592	▲812	▲23.9%	▲407	▲13.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,041	▲439	▲29.6%	+41	+4.2%

26

※ 2024年3月期まで「試薬」に含めていたmRNA製造用関連製品（研究用）等の売上高を、
2025年3月期より「遺伝子医療」に加えております。本表は当該変更を反映して組み替えております。



26/03期 連結業績（上期予想）

（百万円）

	26/03期 上期予想	前期比	
		増減	増減率
売上高	21,300	+1,541	+7.8%
売上原価	8,915	+1,601	+21.9%
売上総利益	12,384	▲60	▲0.5%
販売費及び 一般管理費	13,834	+1,806	+15.0%
営業利益	▲1,450	▲1,867	-
経常利益	▲1,430	▲1,979	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲1,320	▲1,833	-

27



26/03期 連結業績（通期予想）

（百万円）

	26/03期 通期予想	前期比	
		増減	増減率
売上高	52,500	+7,460	+16.6%
売上原価	22,474	+3,502	+18.5%
売上総利益	30,025	+3,957	+15.2%
販売費及び 一般管理費	27,525	+3,721	+15.6%
営業利益	2,500	+236	+10.5%
経常利益	2,500	▲92	▲3.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,300	+258	+24.8%

25/03期 カテゴリー別売上高（通期）

（百万円）

	25/03期 通期	前期比		2/13予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
試薬	31,995	+589	+1.9%	▲74	▲0.2%
機器	1,172	+279	+31.3%	▲4	▲0.4%
受託	8,113	+115	+1.5%	▲415	▲4.9%
再生医療等 製品	4,102	▲123	▲2.9%	▲242	▲5.6%
遺伝子解析/ 検査	3,588	+267	+8.1%	▲168	▲4.5%
その他	422	▲28	▲6.3%	▲4	▲1.0%
遺伝子医療	3,757	+548	+17.1%	+34	+0.9%
売上高合計	45,039	+1,533	+3.5%	▲460	▲1.0%

26/03期 カテゴリー別売上高（上期予想）

（百万円）

	26/03期 上期予想	前期比	
		増減	増減率
試薬	16,018	+612	+4.0%
機器	695	+268	+62.9%
受託	3,023	+749	+33.0%
再生医療等製品	1,615	+651	+67.6%
遺伝子解析/検査	1,213	+144	+13.6%
その他	194	▲47	▲19.5%
遺伝子医療	1,563	▲89	▲5.4%
売上高合計	21,300	+1,541	+7.8%

26/03期 カテゴリー別売上高（通期予想）

（百万円）

	26/03期 通期予想	前期比	
		増減	増減率
試薬	37,103	+5,107	+16.0%
機器	1,768	+595	+50.8%
受託	10,203	+2,090	+25.8%
再生医療等製品	5,717	+1,614	+39.3%
遺伝子解析/検査	4,081	+493	+13.7%
その他	405	▲17	▲4.1%
遺伝子医療	3,424	▲333	▲8.9%
売上高合計	52,500	+7,460	+16.6%

25/03期 試薬所在地別売上高（通期）

（百万円）

	25/03期 通期	前期比		
		増減	うち為替	増減率 (為替影響除く)
日本	6,497	▲847	0	▲11.5%
米国	12,879	+234	+936	▲5.6%
欧州	3,411	▲270	+255	▲14.3%
中国	7,262	+1,477	+417	+18.3%
韓国	1,173	▲148	+36	▲14.1%
印度	770	+145	+46	+15.7%
合計	31,995	+589	+1,693	▲3.6%

32

※ 2024年3月期まで「試薬」に含めていたmRNA製造用関連製品（研究用）等の売上高を、2025年3月期より「遺伝子医療」に加えております。本表は当該変更を反映して組み替えております。



26/03期 試薬所在地別売上高（上期予想）

（百万円）

	26/03期 上期	前期比		
		増減	うち為替	増減率 (為替影響除く)
日本	3,153	+455	0	+16.9%
米国	7,546	+764	▲170	+13.8%
欧州	1,794	+148	▲66	+13.1%
中国	2,360	▲953	▲100	▲25.7%
韓国	705	+111	▲23	+22.8%
印度	457	+86	▲35	+32.7%
合計	16,018	+612	▲396	+6.5%

33



26/03期 試薬所在地別売上高（通期予想）

（百万円）

	26/03期 通期	前期比		
		増減	うち為替	増減率 (為替影響除く)
日本	7,432	+934	0	+14.4%
米国	16,717	+3,838	▲301	+32.1%
欧州	4,129	+717	▲142	+25.2%
中国	6,338	▲924	▲260	▲9.1%
韓国	1,525	+351	▲30	+32.6%
印度	960	+190	▲62	+32.7%
合計	37,103	+5,107	▲797	+18.5%

34

会社別業績(25/03期通期、26/03期上期・通期予想)

（百万円）

	25/03期 実績		26/03期			
			上期予想		通期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
タカラバイオ(単体)	25,354	63	11,484	▲1,411	28,368	266
Takara Bio Europe (連結)	4,535	▲374	2,382	2	5,423	257
宝生物工程(大連)	4,025	487	1,609	122	3,795	419
宝日医生物技術(北京)	8,478	875	2,927	93	7,515	419
Takara Korea Biomedical	1,428	215	807	54	1,744	164
DSS Takara India	820	91	484	47	1,022	99
Takara Bio USA	17,145	1,128	9,667	433	21,799	2,138

35

為替レート

(単位：円)	25/03期 通期	26/03期 通期
	実績	予想
米ドル	151.69	149.00
ユーロ	164.04	158.00
人民元	21.03	20.20
100ウォン	11.12	10.90
インドルピー	1.81	1.70
ポンド	193.83	190.00